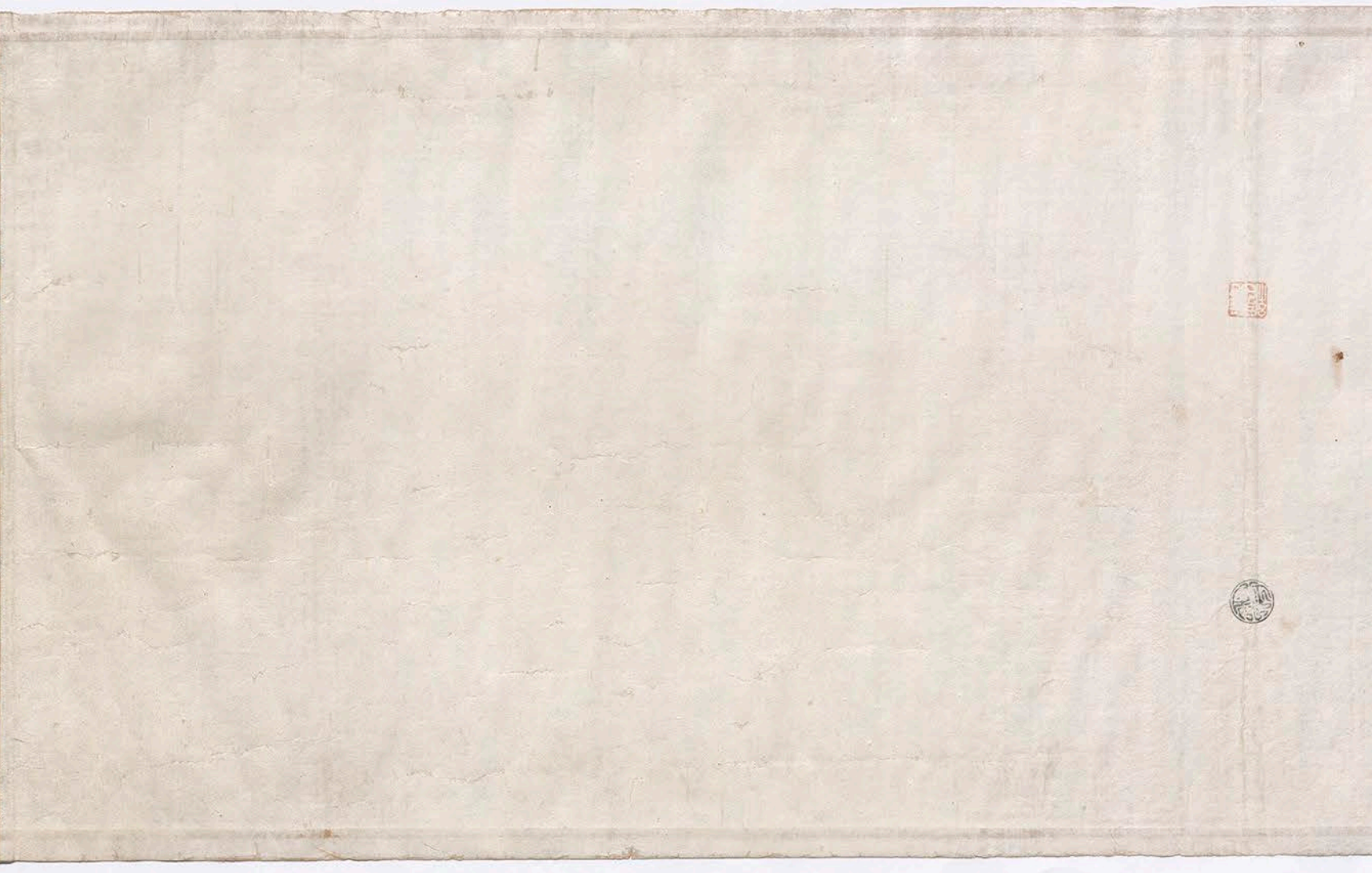
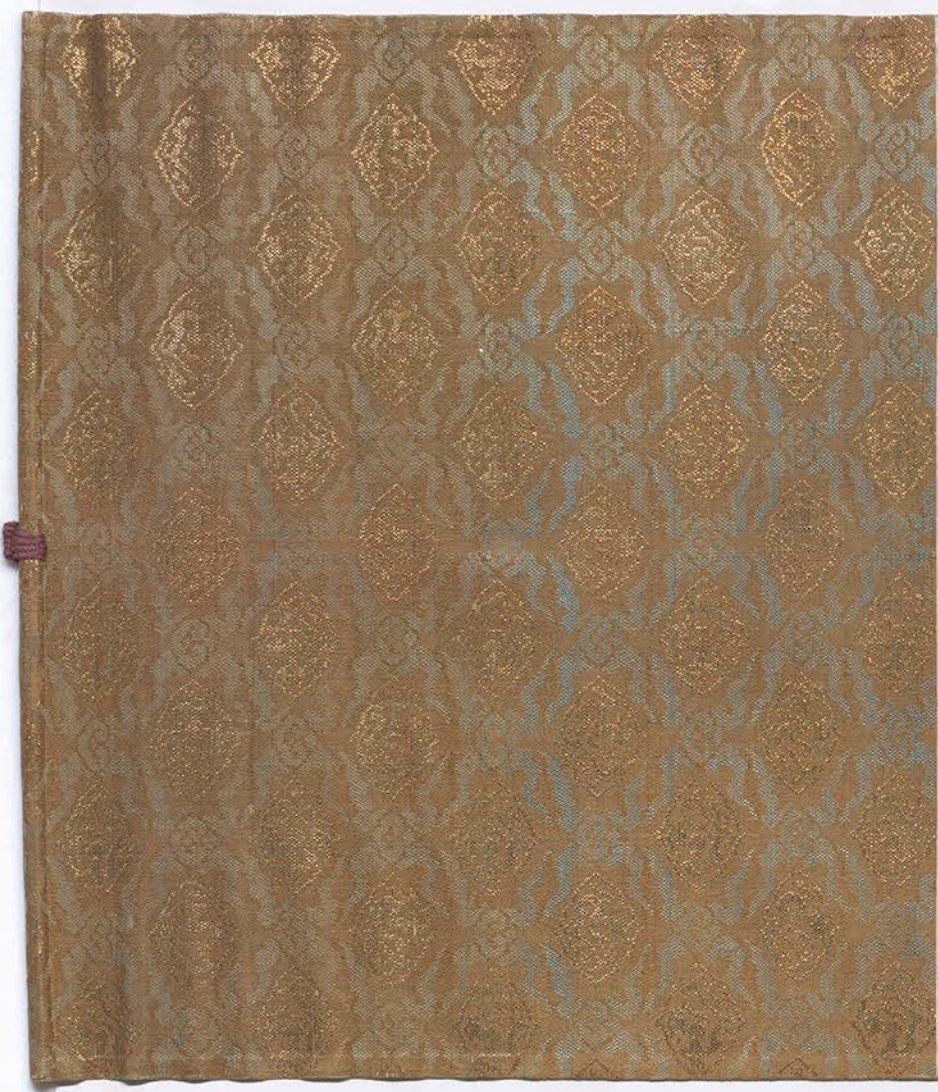




0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32





天智天皇

持統天皇

娘の田狩りいれ唐のさむねあつて日ごとくさるる落ぬまはけ
まのこころまけみまきこころあはれこころまはけとてよあはれいかに

枳中人丸

是引物山を尾のまきりかのかくくくあを穂かこ種

山色赤人

あはれやめりし御もり口もいふまゝもまゝあはれ御の

象議篁

智の象八十倍けりてあはれ人あはれあまの御水

僧正通昭

玉津風雲のぞし御吹さらしあはれあまの御水

陽成院

筑波御宮よりかきあふの川をばはらりて御水

河原左大臣

まのつらあふのつら御水よみささうらりて御水

光孝天皇

君はあまの御水かきりて御水よみささうらりて御水

中納言行平

立りまゝあまの御水よみささうらりて御水

在原業平朝臣

子早振神代もごとし御水よみささうらりて御水

藤原敏行朝臣

伊の御水よみささうらりて御水よみささうらりて御水

伊勢

御水よみささうらりて御水よみささうらりて御水

元良親王

御水よみささうらりて御水よみささうらりて御水

素性法師

今来じやいりりて七月の夕陽の目と御水よみささうらりて御水

文房康秀

吹く水鏡のあまの御水よみささうらりて御水よみささうらりて御水

元良親王

後醍醐天皇の御孫 純徳太子の御孫 崇徳太子の御孫 崇徳太子の御孫 崇徳太子の御孫

文尾康秀

今承じ世に... 大正千里

菅家

三條右大臣

貞信公

中納言兼輔

源宗正親臣

九河月祈恒

壬生忠岑

坂上是則

春道列樹

山行... 己...

壬生忠岑

おのれは... 坂上是則

おのれは... 春道列樹

山けり... 紀友則

久し... 友永貞周

惟と... 紀貫之

大... 清原深養父

夏... 文屋朝康

白... 右近

志... 参議等

長... 平道威

志... 壬生忠見

志... 清原元猫

おのれは...

卓道威

志道はみかみくろの成るいものちあふ人の心ま
壬生忠見

志道はみかみくろの成るいものちあふ人の心ま
清原元福

志道はみかみくろの成るいものちあふ人の心ま
中絶言教也

志道はみかみくろの成るいものちあふ人の心ま
中絶言教也

志道はみかみくろの成るいものちあふ人の心ま
謙徳公

志道はみかみくろの成るいものちあふ人の心ま
常祿好也

志道はみかみくろの成るいものちあふ人の心ま
惠度法師

志道はみかみくろの成るいものちあふ人の心ま
源重之

志道はみかみくろの成るいものちあふ人の心ま
大中臣能宣好也

志道はみかみくろの成るいものちあふ人の心ま
藤原義孝

志道はみかみくろの成るいものちあふ人の心ま
藤原実朝好也

志道はみかみくろの成るいものちあふ人の心ま
友成道信好也

藤原義孝

藤原實光

藤原道信

右大臣道隆

藤原三河守

大納言公任

和泉式部

豐成

大貳三位

赤染清

清和納言

左京大夫道雅

大中納言定賴

法言納言

法言納言のうへに納言のふりかへしよふあまの國の
左京右大臣道雅

今まはむねの後のまことりて人ほくかしてふりかへ
指中細言定頼

物ほくさうらり川言たれよあははむわふの
相換
あうま

うへに納言のふりかへしよふあまの國の
赤大僧正初吉

法言納言のうへに納言のふりかへしよふあまの國の
固防月信

法言納言のうへに納言のふりかへしよふあまの國の
三條院

法言納言のうへに納言のふりかへしよふあまの國の
能固法師

法言納言のうへに納言のふりかへしよふあまの國の
良還法師

法言納言のうへに納言のふりかへしよふあまの國の
大細言経信

法言納言のうへに納言のふりかへしよふあまの國の
祐子母親王後妃

法言納言のうへに納言のふりかへしよふあまの國の
お中細言定頼

法言納言のうへに納言のふりかへしよふあまの國の
左京右大臣道雅

梅雪のしづめる葉がらむてけのまらぬ花風を吹
祐子母親王御紀伊

春のうたがけのしづめる葉がらむてけのまらぬ花風を吹
お中細言返答

春のうたがけのしづめる葉がらむてけのまらぬ花風を吹
源俊賴刻旨

春のうたがけのしづめる葉がらむてけのまらぬ花風を吹
藤原基俊

春のうたがけのしづめる葉がらむてけのまらぬ花風を吹
法住寺入道前園白玄政大臣

春のうたがけのしづめる葉がらむてけのまらぬ花風を吹
景徳院

春のうたがけのしづめる葉がらむてけのまらぬ花風を吹
源兼昌

春のうたがけのしづめる葉がらむてけのまらぬ花風を吹
大系大夏歌集

春のうたがけのしづめる葉がらむてけのまらぬ花風を吹
侍隨門院堀河

春のうたがけのしづめる葉がらむてけのまらぬ花風を吹
後徳大寺左大臣

春のうたがけのしづめる葉がらむてけのまらぬ花風を吹
道因法師

春のうたがけのしづめる葉がらむてけのまらぬ花風を吹
皇太后宮左大臣俊成

うしむるをいへしむらびのふりてけしむる

後徳大寺左大臣

都を治むるにむかひしむらびのふりてけしむる

通因法師

思ひ境にむらびのふりてけしむる

皇太后宮左大臣

世にむらびのふりてけしむる

藤原清物朝臣

かきつむらびのふりてけしむる

俊忠法師

かきつむらびのふりてけしむる

為新法師

かきつむらびのふりてけしむる

宗蓮法師

かきつむらびのふりてけしむる

皇太后院別当

かきつむらびのふりてけしむる

式子内親王

かきつむらびのふりてけしむる

敬留院大僧

かきつむらびのふりてけしむる

後京極権政左大臣

かきつむらびのふりてけしむる

二條院禪師

かきつむらびのふりてけしむる

凡そわがまは海人の袖つもとを思ふと
後京極栴板の政を大政大臣

まろしきも我々のしげりまこととて
二條院禰波

我々のまゝ分るゝ念仲の心今とて
藤倉右大臣

世中とてまゝなりは流るゝ海すのまのつゝ
冬議雅経

凡そ此の安の秋月小秋とて
前大僧正慈覺

おぼしきもいふは民をいふはり。まじ
入道前大政大臣

我々のまゝの海の言ひはり
拾中細言定春

まゝのまゝの海の中まゝ
正三位家隆

何れもなまのふにのゆゑ
後鳥羽院

人として人まゝありまゝ
順徳院

百変やぬまの形塔のまゝ
むしり

白五十四

軸物

一軸



此一函為寬不持秘苑他日此信可捨依是某殘迹
首之可思出年

素以軒誌之